

明治学区 津波ハザードマップ

(千年に一度あるいはそれよりももっと発生頻度が低いが、仮に発生すれば甚大な被害をもたらす地震を想定したものです。)

凡例

指定避難所		指定緊急避難場所(津波避難ビル)	
地下式給水栓		広域避難場所	
応急給水施設		地域防災協力事業所	
公衆電話		下水道直結式トイレマンホール	

浸水深(m)

- 2.0m以上 - 3.0m未満
- 1.5m以上 - 2.0m未満
- 1.0m以上 - 1.5m未満
- 0.5m以上 - 1.0m未満
- 0.3m以上 - 0.5m未満
- 0.3m未満

津波避難のポイント

- 1. 徒歩で避難を**
原則、車で避難しない。車での避難は渋滞を引き起こし、かえって避難の妨げになる。
- 2. 海岸や川沿いには近づかない**
地震の後は、護岸や堤防が被害を受けている可能性があり非常に危険なので決して近寄らない。
- 3. 寄り道はしない**
津波からの避難は一刻を争うため、家のことを心配して引き返したり、貴重品などを取りに戻ったりせず、周囲に声をかけながらまっすぐ避難先に向かう。

在宅避難のススメ

避難所は、不特定多数の方が避難生活を送るため、環境の変化とともに大きな負担がかかることが想定されます。火災や家屋倒壊などの危険がない場合は自宅で避難生活を送る“在宅避難”を考えましょう。その際は、下記のことを心がけましょう。

- ・在宅避難している高齢者や障害者などに声をかけよう！
- ・周囲に自宅避難を知らせよう！
- ・周囲で声かけし、食料や物資を分け合おう！
- ・最寄りの避難所で避難者登録しよう！

一人では逃げられない方への対応

過去の災害では、周囲からの「声かけ」と「避難の手伝い」が、下記のような高齢者や障がいのある方などの避難行動を早めました。日頃から一人で逃げられない方を把握し、地域みんなで、いち早く避難行動が取れるよう協力しましょう。

情報の入手や判断が難しい方

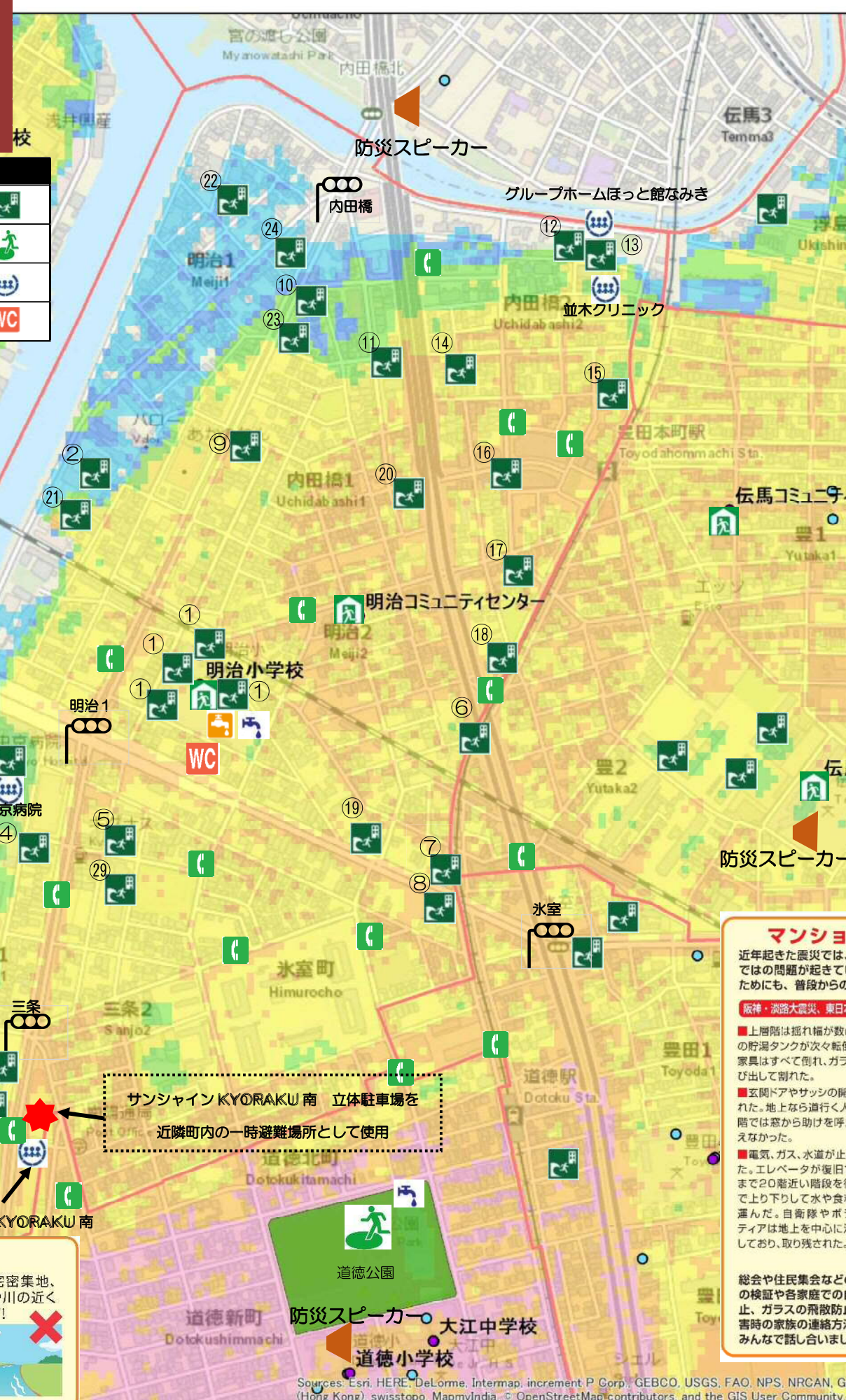
- 例えばこんな方**
目が見えない方、耳の聞こえない方、認知症の方、知的障害のある方、日本語が苦手な外国人、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯など。
- 対応方法**
やさしい言葉でゆっくり声かけ
メモや身振り手振りで伝える

移動が難しい方

- 例えばこんな方**
普段、杖・押し車・車椅子などを使っている人、寝たきりの人、けが人、病人、妊婦さんなど。
- 対応方法**
複数で手伝う
身近にあるものを利用する

◆避難先へ安全に避難するための5つのポイント

- ① ガス・水道の元栓を締め、ブレーカーを切る！**
- ② 「一緒に逃げよう」近所への声かけ！**
- ③ 高齢者や障がいのある方などの避難誘導を！**
- ④ 原則徒歩で！**
(渋滞抑止・高齢者や障がいのある方などの避難を妨げない)
- ⑤ 木造住宅密集地、がけ地や川の近くは避けて！**



指定緊急避難場所(津波避難ビル)

No	施設名	建物階数
①	明治小学校(管理棟・北・南・西校舎)	3～4階
②	アットホーム宮の渡し	5階
③	中京病院(本館)	9階
④	サンシャイン伊藤	5階
⑤	ハイツサンルート	5階
⑥	プレスイン明治	8階
⑦	氷室エーケーマンション	5階
⑧	ナビシティ道德	12階
⑨	ベルテ内田橋	7階
⑩	ストーク内田橋	5階
⑪	レジデンス内田橋	7階
⑫	安井ビル	4階
⑬	グループホームほっと館なみき	4階
⑭	キャティア内田橋	5階
⑮	サンハイツ大山	5階
⑯	須原ビル	6階
⑰	明治屋ビルディング	7階
⑱	山田ビル	9階
⑲	アーバンヒルズ明治	8階
⑳	アクトピア神宮南	10階
㉑	ライフ&シニアハウス神宮南井田	9階
㉒	エスポア内田橋	7階
㉓	セントラル内田橋	7階
㉔	内田橋清涼苑	7階
㉕	県営三条住宅1棟	11階
㉖	県営三条住宅2棟	11階
㉗	県営三条住宅3棟	10階
㉘	県営三条住宅4棟	11階
㉙	東レ株式会社熱田寮	6階

マンションでの防災

近年起きた震災では、高層建築、共同住宅ならではの問題が起きています。安心して生活するためにも、普段からの備えを進めましょう。

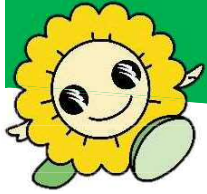
阪神・淡路大震災、東日本大震災ではこんなことが起きた。

- 上層階は揺れ幅が数mあった。通路に合った給湯器の貯湯タンクが次々転倒し、400ℓの熱湯が流れ出た。家具はすべて倒れ、ガラス扉を突き破って食器類が飛び出して割れた。
- 玄関ドアやサッシの開閉ができなくなり、閉じ込められた。地上なら道行く人に気づいてもらえたが、高層階では窓から助けを呼んでもなかなか気づいてもらえなかった。
- 電気、ガス、水道が止まった。エレベーターが復旧するまで20階近い階段を徒歩で上り下りして水や食料を運んだ。自衛隊やボランティアは地上を中心に活動しており、取り残された。

総会や住民集会などの機会を活用し、避難通路の検証や各家庭での自助の取組(家具の転倒防止、ガラスの飛散防止、保存食や水の備蓄、災害時の家族の連絡方法を話し合う等)について、みんなで話し合おう。

情報収集収集方法①

- 1. きずなネット防災情報**
地震や大雨などによる災害時の避難に関する情報などを携帯電話にメールでお知らせします。
m.sai gai@cep.jpへ空メールして登録!
- 2. 名古屋市水防情報システム(NICOS)**
名古屋市内及び周辺部の雨量や河川水位の状況などを確認することが出来ます。
パソコンやスマートフォンで…
名古屋市水防情報システム を検索!
- 3. 災害用伝言ダイヤル 171**
災害時には以下の番号で被災地の人へ伝言が残せます。
171+1+相手の電話番号
伝言を録音(30秒以内)
171+2+相手の電話番号
伝言が再生
※いずれの場合も通話料や通話料がかかる場合があります。



明治学区の災害リスク

世帯：5,092 世帯 人口：10,738 人 面積：0.981km²

南海トラフ巨大地震は30年以内に発生する確率が**70～80%**といわれています。明治学区は津波の浸水が想定される地域です。名古屋港への津波到達時間は最短で**96分**と予測されており、津波の遡上はその後から始まります。この時間を最大限に使い、みんなで助け合い避難しましょう。

災害の種類	程度
震度	6強
液状化の可能性	大
津波の浸水深	1.5m～2.0m
津波の浸水開始時間	120分～

もし南海トラフ巨大地震が発生したら…

地震発生

①地震発生！まずは身の安全を確保



- ☐ 頭を守り、家具やガラスから離れる

②揺れが収まったら火の始末



しっかり火の始末で火災阻止！

- ☐ 台所やストーブ、ろうそくなどの火の始末をする
- ☐ 避難をする際にはブレーカーを落とし、水道とガスの元栓を閉める

火が出たらすぐに初期消火！

- ☐ 「火事だ！」と大声で叫び、隣近所に知らせる
- ☐ 119番に通報して、消火器や水バケツなどにより初期消火

③我が家の安全確認！

- ☐ ガラス片やとがった物が散乱しているため、靴やスリッパを履く

あわてて外に飛び出さない！

- ☐ むやみに外に出るのは危険
- ☐ 周囲の状況を良く確かめて、落ち着いて行動する

出口の確保をする！

- ☐ 余震や火災に備え、まずは出口を確保する

正しい情報で行動する

- ☐ テレビやスマートフォン、ラジオなどを使って正しい情報を収集する
- ☐ 報道機関や市役所、消防署、警察からの情報に注意する
- ☐ 災害時はデマなどに惑わされやすくなるので注意する

④大津波警報発表！避難勧告発令！



地域で助け合い

- ☐ 町内会で安否確認を実施する
- ☐ 地域で連携し、倒壊家屋や転倒家具の下敷きになっている人を救出する
- ☐ 火が出ていれば、可能な範囲で初期消火活動をする

緊急避難開始！

- ☐ ひとりでは避難が難しい方などの避難誘導をする
- ☐ 原則徒歩で避難する
- ☐ 非常持出品を携行する

浸水想定区域外や津波避難ビルなど高い建物へ避難

